

平成 28 年度 総会関連「話題提供」
「引き継いで欲しい『3つのことば』」

～カスタマーズ・カスタマー、五角形の独楽、ソーシャル・キャピタル～

【3つのことば】

1. カスタマーズ・カスタマー (Customer's Customer) : 本当の顧客は、顧客の顧客
杭打データ偽装事件の背景 (Transparency の欠如)
杭打ち業者 → (Paper Co.) → 【元請】 → 不動産会社 → 【購入住居者】
2. ソーシャル・キャピタル
シビル NPO 活動に必要な、2つのソーシャル・キャピタル【別紙参照】
3. 五角形のコマ
PFI/PPP に学ぶこと 2つの“Social Capital Pentagonal Top”

【「対のことば」に反省を込めて】

- ① 存在感と達成感
- ② 意識と情熱 (微分と積分)
- ③ 偶然の重なりは必然
哲学者三木清 ‘人生において何事も偶然である、しかし何事も必然である’
- ⑤ Reasonable and Fair (サードセクターの原則)
カスタマーズ・カスタマー
- ⑥ 社会資本と社会的資本

【2025 年まで生きてみよう、偶然の重なりは必然とならないことを祈りながら……】
再び語られ出した、日本近代史 80 年 (戦後 70 年) 説

日本 NPO 学会第 18 回年次大会一般セッション報告
社会資本的課題に関わるシビル NPO 法人中間支援組織活動への挑戦

用語としての「ソーシャル・キャピタル」の偶然

有岡正樹（CNCP 常務理事）

NPO 法人活動に関わって「ソーシャル・キャピタル」という言葉を目にしたのは、2012 年の東洋大学で開かれた第 16 回日本 NPO 学会に参加した時である。予め配布されてきた学会のセッションごとのレジメの中にそれが一つのテーマ（キーワード）として取り上げられていた。それまで 40 年以上土木工学の分野一筋で生きてきた自分にとっては、ソーシャル・キャピタルというと「社会資本」であり、ひいては「社会基盤」である。我々の関わっている NPO 活動がインフラストラクチャー分野でも適用されていると、勇んでその会場に足を向けたのだが、その言葉が「社会関係資本」と日本語に訳されて議論される、社会学や経済学分野での用語であることを知るまでにそんなに時間は掛からず、軽い失望を感じたのを憶えている。

帰宅してウェブで検索してみると、‘ソーシャル・キャピタルを直訳すれば「社会資本」で、これは電気水道や道路といった都市基盤のようなハードな資本（インフラストラクチャー）を意味する語として日本語で使われているが、社会学や政治学、経済学といった分野では人間関係の豊かさこそを社会の資本としてとらえるソフトな概念をあらわしている’ ようである。少し噛み砕くと、‘人々の協調行動が活発化することにより社会の効率性を高めることができるという考え方のもとで、社会の信頼関係、規範、ネットワークといった社会組織の重要性を説く概念’ で、NPO の学問分野ではソーシャル・キャピタルが「社会関係資本」という日本語訳を用いて議論され、学会・講演会や関連図書で散見される理由が分かった次第である。

一方、土木学会土木用語大辞典で「社会資本」を引いてみると、‘社会的に共通の資本、生産や消費等の一般的な経済活動を支える資本であり、私的な動機による投資に委ねていると、経済社会の必要性から見て、その存在量が不足するか、著しく不均衡になるなど望ましくない状況に置かれるであろうと考えられる資本をいう。広義には、道路、港湾等の社会基盤施設のみならず、法と秩序、教育、衛生等が含まれる広義な概念であり、インフラストラクチャーともいう。’ とある。英語では social overhead capital と表して、ソーシャル・キャピタルの間に ‘overhead’ という一文字が入っている。この英文字を総括的に解釈すると、著名な経済学者宇沢弘文博士がその著『社会的共通資本』（岩波書店、2000.11）のはしがきで ‘ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を安定的に維持することを可能にする社会的装置で、具体的には、森林・大気・水道・教育・報道・公園・病院など産業や生活にとって必要不

可欠な社会的資本を示す」と述べている‘共通’という語に‘overhead’が対応する、と勝手に思ったりしている。

少し話が変わるが、去る7月31日小職の担当するCNCP教育研修委員会企画の第1回セミナーを、「シビルNPOで次なるステージでの活躍のために」と題し、内容的には以下の2点について、講演とワークショップの組み合わせで実施した。

- (1)「市民連携のスキルとは？～参加のデザインを学ぼう～」
- (2)「自治体等への技術支援の可能性」

前者はソーシャル・キャピタル（「社会関係資本」）、後者は土木工学でいうソーシャル・キャピタル（「社会資本」：インフラストラクチャー）に、それぞれ通ずるところがあり、いわば何らかの形でNPOが関われるインフラ行政の両輪である。CNCPの地域活動支援部門では、自治体インフラメンテについて議論を始めているが、それに先立っての自治体インタビューで出た意見でも、公共施設の統廃合についての合意形成の難しさを述懐している行政もあった。

上記土木用語大辞典の英文索引でsocial capitalを逆引きしてみても、それに対応する日本語はないので、土木技術者による前者のソーシャル・キャピタル（「社会関係資本」）に対する関心は大きくはないようだ。一方、9月12日日本大学法学部の図書館内マルチメディア教室で開かれた、ソーシャル・キャピタル研究会に参加して、東洋大学経済学部今村肇教授による「社会連携経済・社会的企業と社会関係資本」という講演を聞き、そのあと懇談会での意見交換でも「社会的共通資本」との関係性を質してみたが、それに類する話はほとんど聞かない、とのことであった。学際化の対象になるかどうか分からないが、これからも継続的に続けようとしているCNCPセミナーでも折に触れてそんな議論を、と考えている。

本通信末尾の「イベントのご案内」に示すように、11月19日仙台で「第2回市民パワーアップ・セミナー：シビルNPOが市民連携の視点で果たせる役割とは」と題して講演とワークショップを企画した。短時間に両輪を回すのは、虻蜂取らずになることを第1回セミナーで学んだので、今回は半日、上記の主として(1)に集中することにした。もちろん1日かけて両輪を回すことも考えている。ぜひ有意義なセミナーとして継続したい。

日本でのソーシャル・キャピタル論の現況

1. 日本でのソーシャルキャピタル論の現況

1) 政府関係

(1) 社会関係資本として

2003.6 : 内閣府国民生活局市民活動促進部

ソーシャル・キャピタル：豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて

2005.12 : 国交省国土交通政策研究第61号（要藤正任）

ソーシャル・キャピタルは地域の成長を高めるか？

～都道府県データによる実証分析～

2005年度：北海道知事政策部

ソーシャルキャピタルの醸成と地位力の向上～信頼の絆で支える北海道～

2006.12～2007.6 : 農水省農村振興局 農村におけるソーシャル・キャピタル研究会

第1回研究会（平成18年12月19日）[配付資料 議事録（PDF：114KB）](#)

ソーシャル・キャピタルをめぐる内外の動き

第2回研究会（平成19年2月21日）[配布資料 議事録（PDF：124KB）](#)

第3回研究会（平成19年3月19日）[配付資料 議事録（PDF：102KB）](#)

第4回研究会（平成19年4月27日）[配付資料 議事録（PDF：278KB）](#)

第5回研究会（平成19年6月6日）[配布資料 議事録（PDF：276KB）](#)

研究会とりまとめ（平成19年6月29日）[資料](#)

(2) 社会資本との関連で

2003.6 : 立命館国際研究「社会資本とソーシャルキャピタル」（佐藤誠）

1957年カナダ王立委員会での報告

「住宅とソーシャル・キャピタル」（学校～道路等含む社会インフラと同義語）

(3) 社会資本として

2003 : 国交省国土交通政策研究第32号（長野・南）

社会資本における維持更新に関する研究

2013.2 : 「都市問題」公開講座ブックレット28

中村英夫：基調講演「老朽化する社会資本」

2) 学会・大学関係

土木学会土木計画学研究委員会

2010.5.26：東北ソーシャル・キャピタル研究会講演会

大阪大学：山内直人他「ソーシャルキャピタルも実証分析」，2011.3

第V部：地域環境

東洋大学：今村 肇（社会的経済；社会連帯経済）

日本大学：稲葉洋二「ソーシャル・キャピタル入門- 孤立から絆へ 」，2011.11

早稲田大学：坪郷 實編著「ソーシャル・キャピタル」，2015.08

第12章(早田 宰)：地域再生・復興とソーシャルキャピタル

宇沢博文：「社会的共通資本」（市民的権利と経済学の考え方） ，2000.11

ソーシャル・キャピタルの二面性対比

視点	建設産業ビジネス的視点	サードセクター活動的視点
学術分野	土木工学・建築学的用語	社会学、経済学、政治学用語
用語	社会資本 (Social Overhead Capital: 土木学会土木用語大辞典)	社会関係資本 (Social Capital)
具体事象	社会基盤 (インフラストラクチャー)	社会的経済/社会連帯経済 (社会的連携組織)
立ち位置	ハード(授益側) (社会を安定的に維持することを可能にする社会的装置)	ソフト(受益側) (市民連携、合意形成、公正・公平、透明性)
	工学的資本・技術	人的資本・人間関係
キーワード	環境・安全、ライフサイクル、サービス提供手段	地域、人(生活)、協同、格差是正
仕組	市場経済的システム (重層契約社会)	市民協働・連携活動 (連帯と参加、自立とシティズンシップ)
組織	設計・建設・維持管理に関わる営利会社(行政) (建設会社、コンサルタント、建設機材、ソーシャルビジネス)	非営利サードセクター(NPO) (協同組合、共済組合、アソシエーション、公益法人)
PM 五角形 のコマ	<p>社会資本</p> <p>建設PM 構成 6大競争要因</p> 	<p>社会関係資本</p> <p>PMに必要な 6つの「わざ」</p> 